

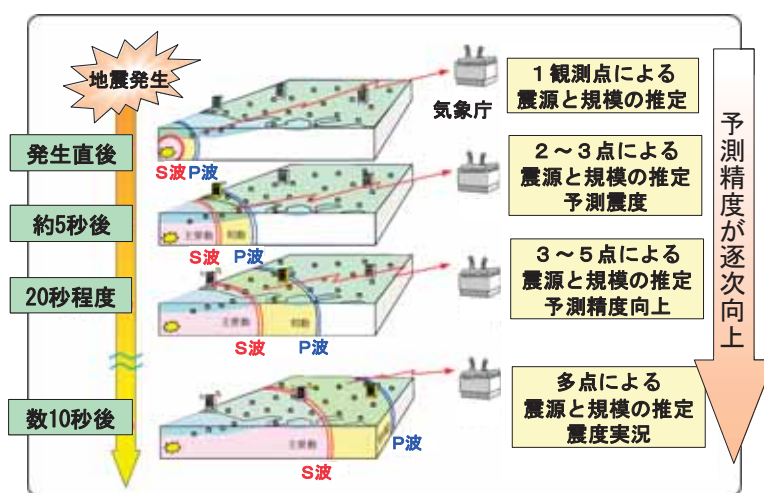
鉄道における 緊急地震速報の活用

〔概要〕

気象庁から配信される緊急地震速報を活用した早期地震防災システムを開発し、実用化しました。地震発生時には、このシステムにより、運転手や関係者・関係部署へすばやく地震情報を伝え、列車停止などの減災対策を行うことが可能です。

〔特徴〕

- ・専用線等により気象庁から緊急地震速報を受信し、その地震諸元情報からM-Δ法などにより、運転規制が必要と判断した線区に情報を送信することが可能です。また、その情報は監視システムに表示されます。
- ・緊急地震速報の受信、電文解釈、運転規制範囲の特定等の各機能は、それぞれモジュール化されており、機能変更などは容易です。
- ・小田急電鉄殿をフィールドにプロトタイプを構築し、実用化に向けての検証を行いました。

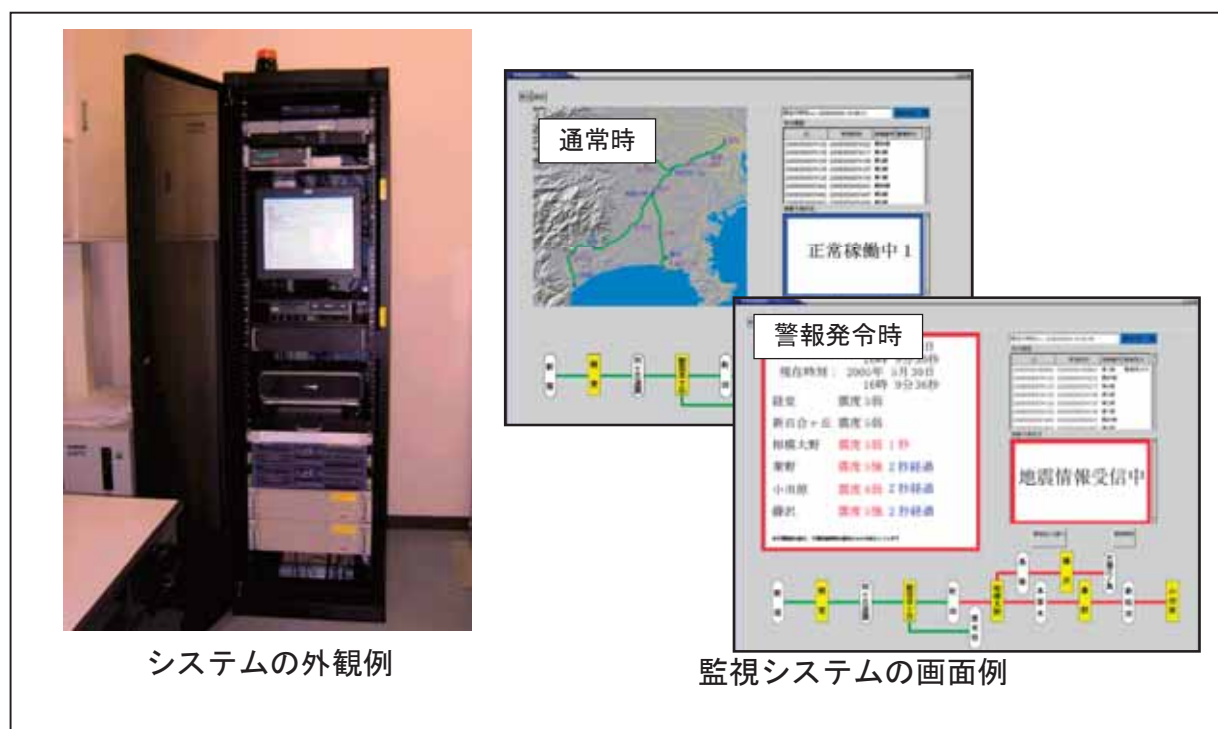
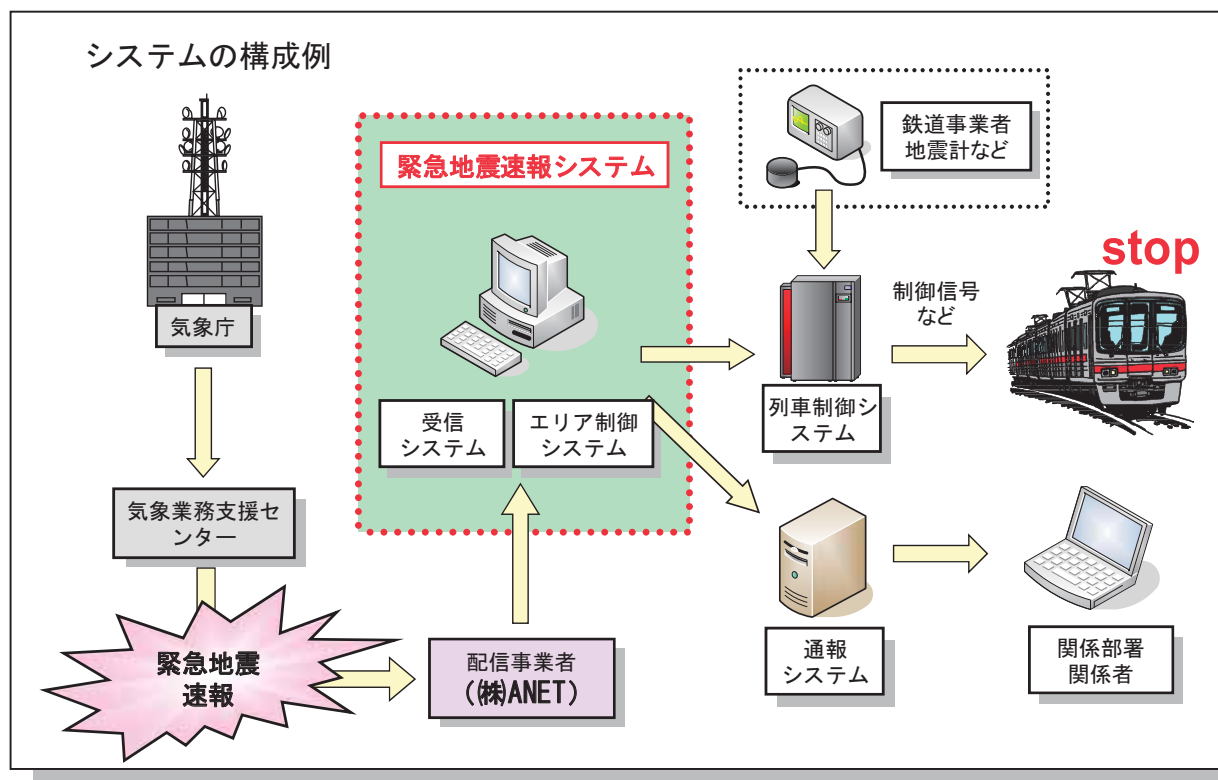


緊急地震速報の概念図

〔展開〕

・緊急地震速報を活用した早期地震防災システムは、平成18年8月の特定事業者に対する先行配信に合わせて本格運用が開始されました。緊急地震速報は、平成19年10月から一般への提供が行われています。

・協力会社（株ANET）を通じて、緊急地震速報を配信するとともに、緊急地震速報を活用した早期地震防災システムの構築、保守、コンサルティングを提供しています。



特許第3695579号

(財) 鉄道総合技術研究所 防災技術研究部 (地震防災研究室)